

平成11年11月24日  
日 本 銀 行  
情 報 サ ー ビ ス 局

## 「生活意識に関するアンケート調査」(第9回)の結果

### (はじめに)

日本銀行では、政策・業務運営の参考とするため、本店や支店を通じた広報活動のなかで、国民各層の意見や要望を幅広く聴取するよう努めていますが、その1つの手法として、平成5年以降、全国20歳以上の男女個人4,000人を対象に「生活意識に関するアンケート調査」を実施しています。この調査は、日本銀行が四半期ごとに行っている「企業短期経済観測調査(短観)」のような統計指標としての調査ではなく、生活者の意識や行動を大まかに窺う一種の世論調査です。

### (調査概要)

- ・調査実施期間...平成11年9月17日(金)~9月27日(月)
- ・調査対象...全国の20歳以上の男女個人
- ・標本数...4,000人(有効回答者数3,187人<有効回答率79.7%>)
- ・抽出方法...層化2段無作為抽出法
- ・調査方法...設問票によるアンケート調査(訪問留置法)

(調査結果の概要)

1. 足許の景況感D.I. (「良くなっている」 - 「悪くなっている」)は、前回調査比 +15.6%ポイント改善したが、景気が「良くなっている」との回答はごくわずかの増加にとどまっている。また、前回調査で大きな改善がみられた先行きD.I.が、今回調査では横這いにとどまっており、足許の景況感改善の持続に対して必ずしも自信を持っていない様子が窺われる。
2. 支出D.I. (「増やしている」 - 「減らしている」)は下げ止まったが、収入・雇用環境が厳しい中であって、未だ景況感D.I.のような改善をみるには至っていない。また、先行きさらに支出を切り込もうというムードは後退しつつあるが、「増やそうと思う」人は依然ごく少数にとどまっている。

< 景況感D.I.および支出D.I.の推移 (%) >

	8年3月 調査	9年3月 調査	10年3月 調査	10年11月 調査	11年3月 調査	今回調査
景況感D.I. (前回比)	-23.0	-30.2 (-7.2)	-70.5 (-40.3)	-77.8 (-7.3)	-51.5 (+26.3)	-35.9 (+15.6)
支出D.I. (前回比)	-38.4	-16.7 (+21.7)	-34.7 (-18.0)	-36.0 (-1.3)	-35.8 (+0.2)	-35.4 (+0.4)

3. マイホーム購入・買い替えの計画があるとの回答は前回調査を下回った。前回調査から今回調査にかけて金利・住宅価格・地価といった外部条件にさほど変化がない中、購入・買い替えを計画した人は実際に購入・買い替えを進める一方で、購入・買い替えの計画がない人では「どうしても購入・買い替えは考えられない」とする人が増加している様子が窺われる。
4. 預金保険制度を知っている人は、全体の6割を超えた(特例措置およびその期限についての認知度も上昇)。この間、金融機関の破綻に際して自分の貯蓄に不安を感じる人は4割超となっており、金融不安・金融機関破綻報道を聞いて、自分の貯蓄に注意を払う(実際に預け替え・分散を行った、今後預け替え・分散を考えている)人は、引き続き3人に1人の割合で存在。
5. コンピュータ西暦2000年問題の認知度が9割弱まで上昇する一方で、2000年問題に関して不安を感じている人は減少。不安を感じる分野としては、前回調査に比べ「情報・通信」、「金融取引」が減少し、「電力・ガス・水道」、「運輸・交通」が増加。

以 上

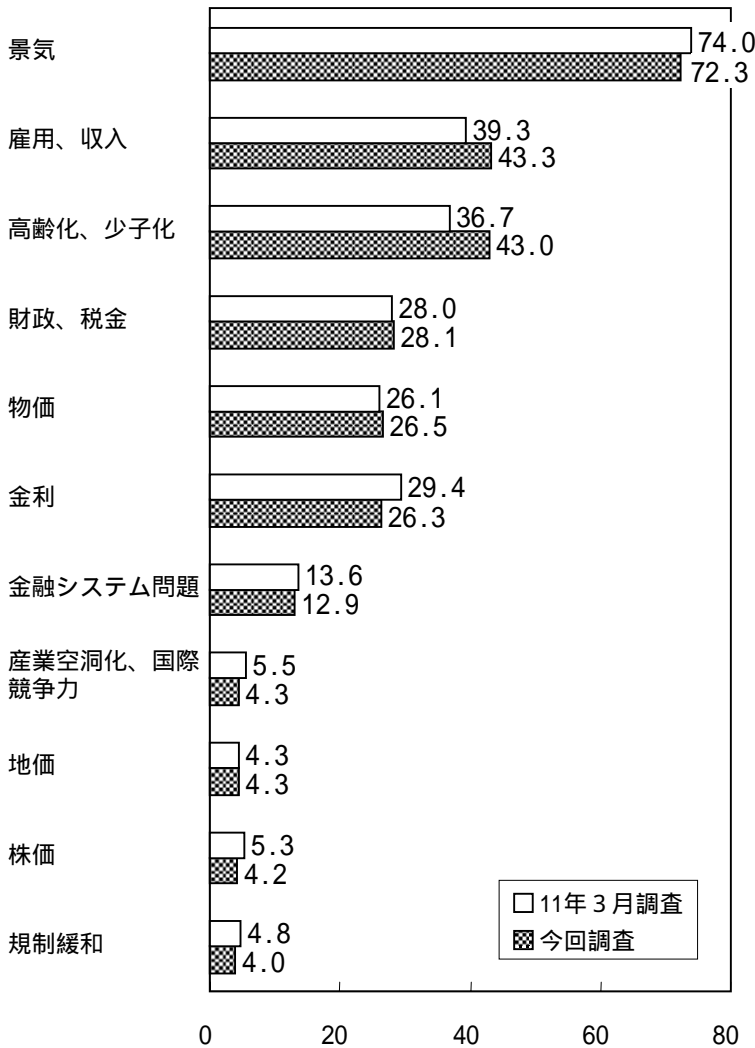
(個別結果)

構成比は小数第2位四捨五入。このため、図表での構成比の合計が100にならないことがある。

1. 現在関心を持っている経済問題

「景気」に対する関心は引き続き高い。前回調査(11年3月。以下、特に記さない限り同じ)に比べると、「雇用、収入」、「高齢化、少子化」に対する関心が高まる一方で、「金利」に対する関心が低下している。

(図表1) 現在関心を持っている経済問題(%, 3つまでの複数回答)



	10年11月調査	11年3月調査	今回調査
第1位	景気	景気	景気
第2位	雇用、収入	雇用、収入	雇用、収入
第3位	物価	高齢化、少子化	高齢化、少子化
第4位	高齢化、少子化	金利	財政、税金
第5位	財政、税金	財政、税金	物価
第6位	金利	物価	金利

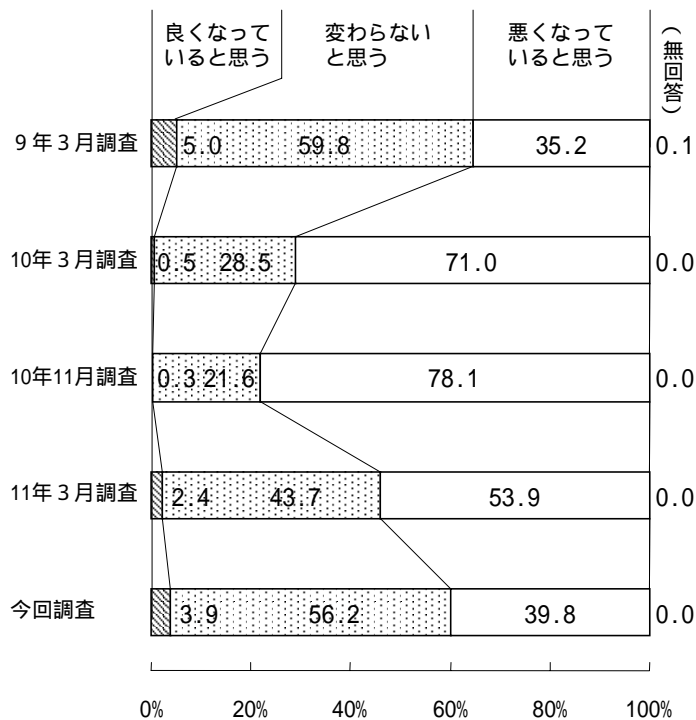
## 2. 景況感

1年前と比べて景気は「悪くなっている」との回答が減少し、D.I.（「良くなっている」 - 「悪くなっている」）は改善。ただ、「良くなっている」との回答はごくわずかの増加にとどまっている。

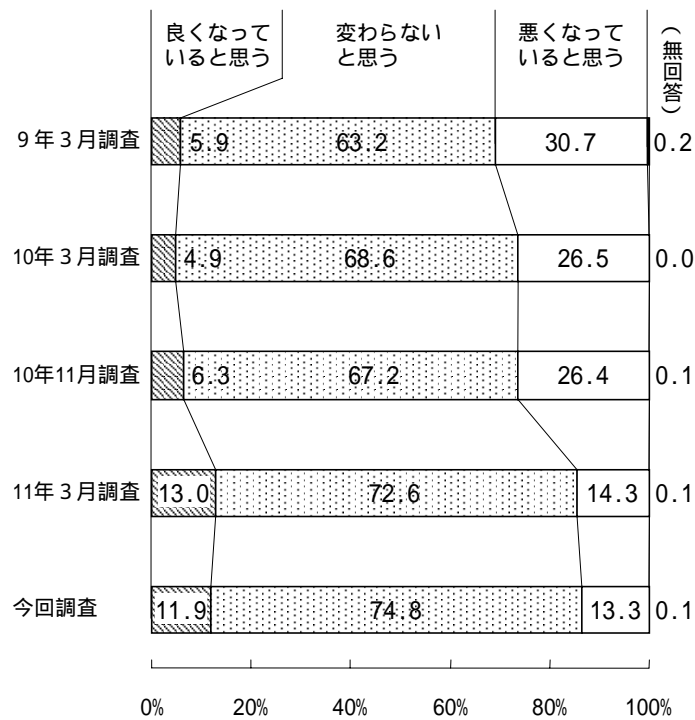
また、1年後の景気見通しについては、前回調査で大きな改善がみられたD.I.が今回は横這いとなる中、「(現状と)変わらないと思う」との見方が全体の4分の3にまで達している。

(図表2) 景況感 (%)

< 現在と1年前を比べて >



< 1年後と現在を比べて >



< D.I.の推移 >

	8年3月調査	9年3月調査	10年3月調査	10年11月調査	11年3月調査	今回調査
現在	-23.0	-30.2	-70.5	-77.8	-51.5	-35.9
(前回比)		( -7.2)	( -40.3)	( -7.3)	( +26.3)	( +15.6)
1年後の予想	-2.2	-24.8	-21.6	-20.1	-1.3	-1.4
(前回比)		( -22.6)	( +3.2)	( +1.5)	( +18.8)	( -0.1)

### < 景気判断の方法別にみた景況感 >

景況感D.I.を“景気判断の方法”別にみると、引き続き、「マスコミを通じて」あるいは「景気関連指標等を見て」景気を判断している人の景況感の改善振りが目立っている。

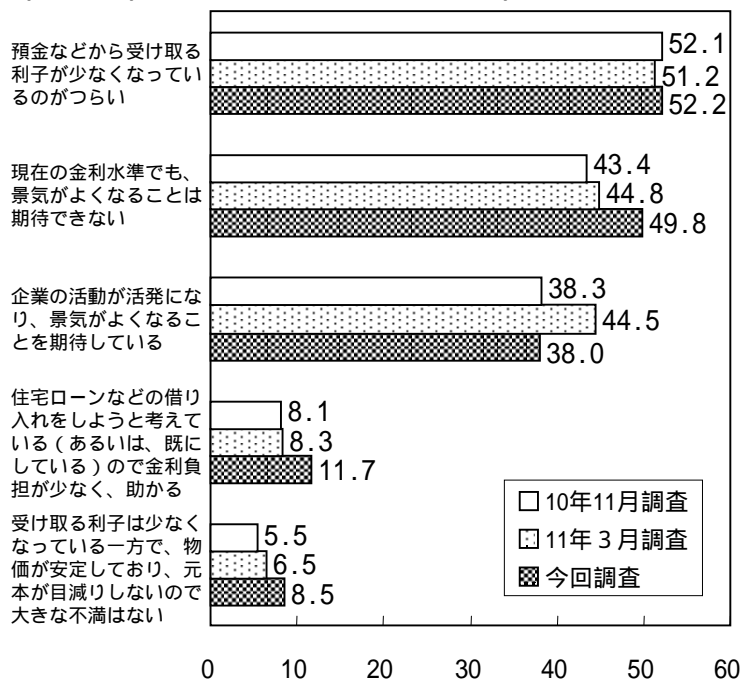
(図表3) 景気判断の方法別にみた景況感D.I.(%)

		景況感D.I. (「良くなっている」-「悪くなっている」)					
		10年11月		11年3月		今回	
			前回差		前回差		前回差
全体		-77.8	-7.3	-51.5	26.3	-35.9	15.6
景気判断の方法	「勤め先や自分の店の経営状況から」と回答	-85.2	-4.0	-62.4	22.8	-46.8	15.6
	「自分や家族の収入の状況から」と回答	-76.0	-12.0	-57.6	18.4	-41.9	15.7
	「マスコミを通じて」と回答	-80.4	-7.7	-47.7	32.7	-28.0	19.7
	「商店街、盛り場などの混み具合を見て」と回答	-78.7	-2.4	-55.1	23.6	-43.0	12.1
	「なんとなく漠然と」と回答	-34.7	3.1	-12.5	22.2	-15.1	-2.6
	「景気関連指標、経済統計を見て」と回答	-85.7	-4.2	-51.5	34.2	-27.4	24.1

### 3. 低金利の受け止め方

「預金などから受け取る利子が少なくなっているのがつらい」とする人は引き続き全体の約半数。低金利による景気回復期待はややトーンダウンしている。一方で、借入負担減、物価安定に対し評価する人が徐々に増えている。

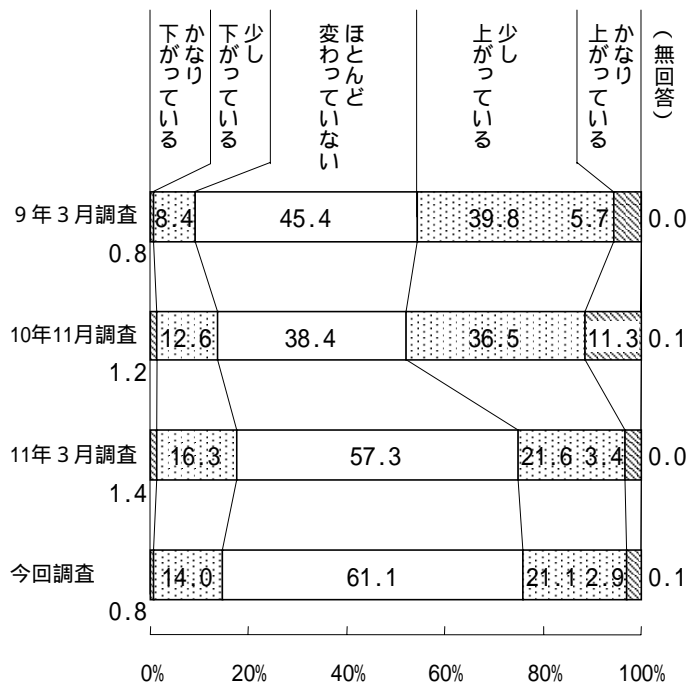
(図表4) 現在の低金利の受け止め方(%, 2つまでの複数回答)



#### 4. 物価

物価については、1年前と比べて「ほとんど変わっていない」とする人が増加し、「上がっている」、「下がっている」とする人はともに減少。

(図表5) 物価の騰落に対する受け止め方(%)

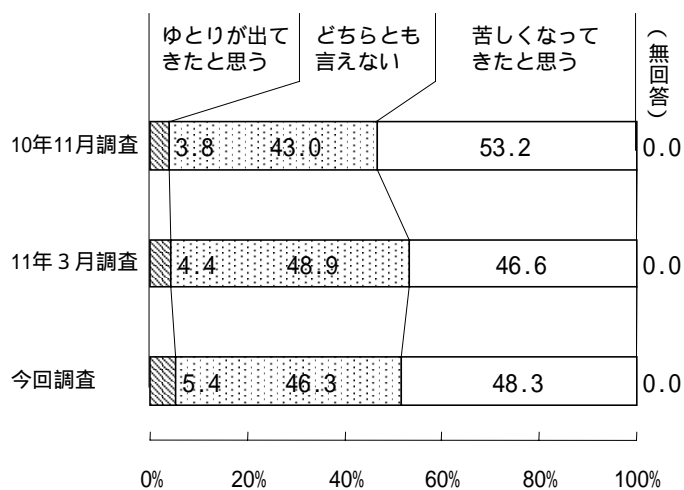


#### 5. 暮らし向き、消費意識

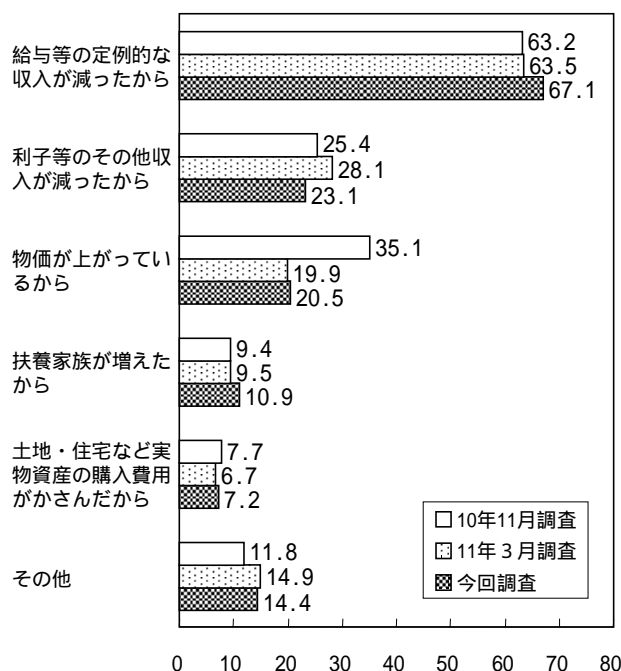
##### (1) 現在の暮らし向き

1年前と比べた暮らし向きについては、なお約半数の人が「苦しくなってきた」と回答。D.I.（「ゆとりが出てきた」 - 「苦しくなってきた」）ベースでも横這い圏内の動きにとどまり（前回調査 42.2% 今回調査 42.9%）、景況感D.I.のような改善をみるには至っていない。また、暮らし向きが苦しくなってきたとする人の判断理由を窺うと、「給与等の定例的な収入が減ったから」の増加が目立つ。

(図表6) 現在の暮らし向き(%)



(図表7) 暮らし向きが「苦しくなってきた」と考える人の判断理由(%, 複数回答)



## (2) 収入、雇用環境

収入については、1年前と比べて「減った」とする人が増加。今後1年間についても「減ると思う」人が増えている。

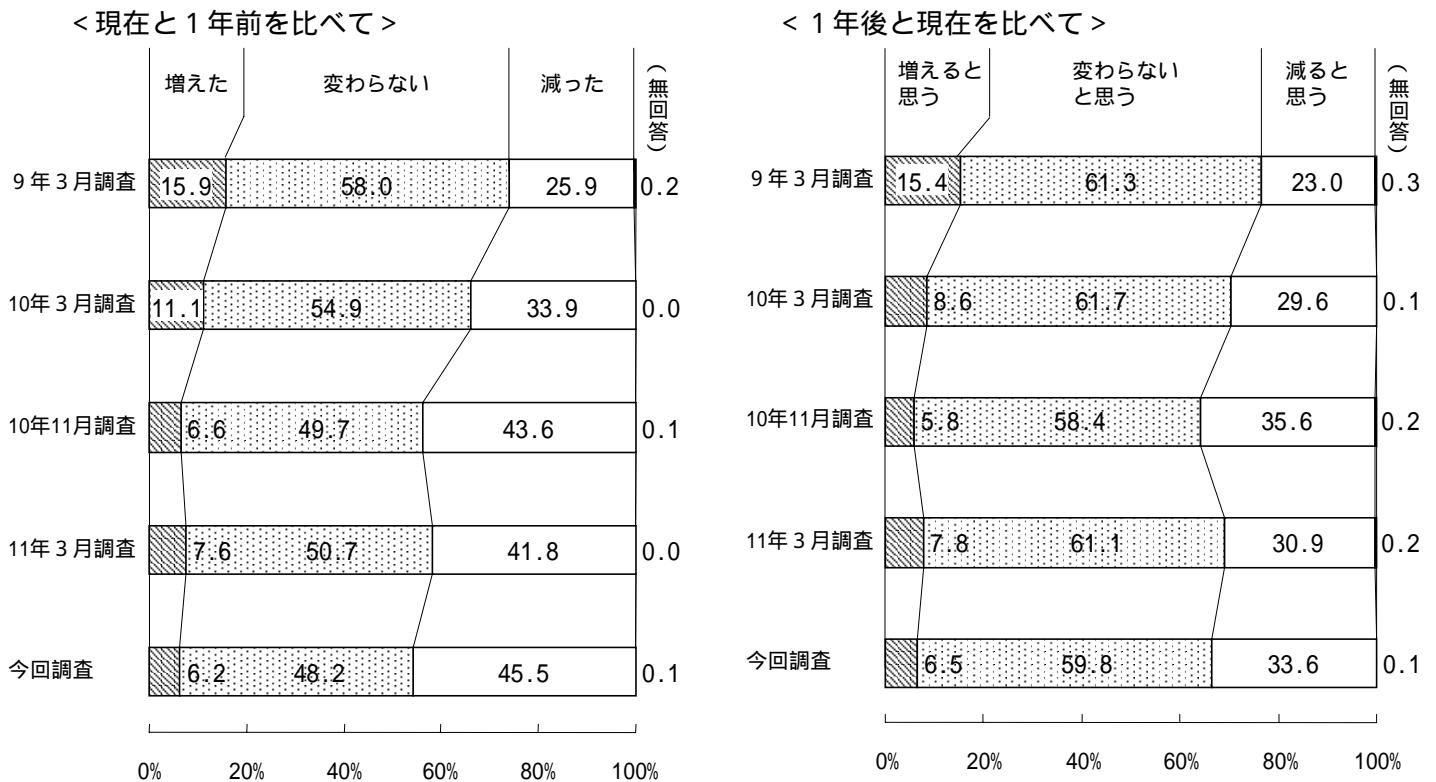
勤め人の中で、勤め先の雇用・処遇について不安を感じている人は依然として約8割に達している。内訳をみると、専門技術・教員職・事務職やパートでは不安を感じている人が前回調査比減少する一方、管理職では不安を感じている人が増加している。

また、自営業者の中で、自分の事業について不安を感じている人は約9割（中でも、商工・サービス業では、不安を感じている人の割合が高い）

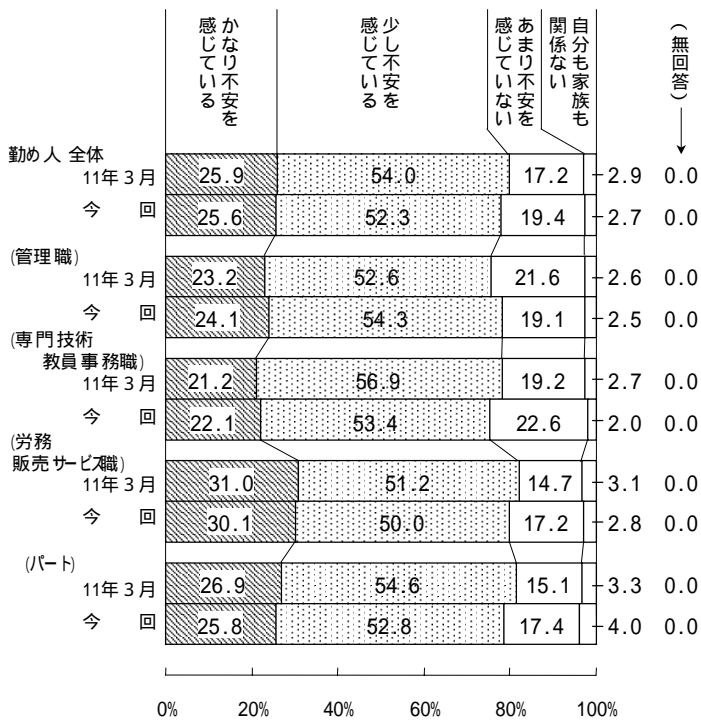
職場での合理化・リストラについて、「行われていないし、今後行われる予定もないと思う」という人は漸減しており、雇用・賃金に対する不透明感が増している状況が窺われる。具体的内容としては、「給与カットや賃金制度の見直し」が増加を続けている。

なお、現下の収入・雇用環境の厳しさを受けて、能力主義に賛成したり、転職を前向きに考える人は10年3月調査に比べて減少した。

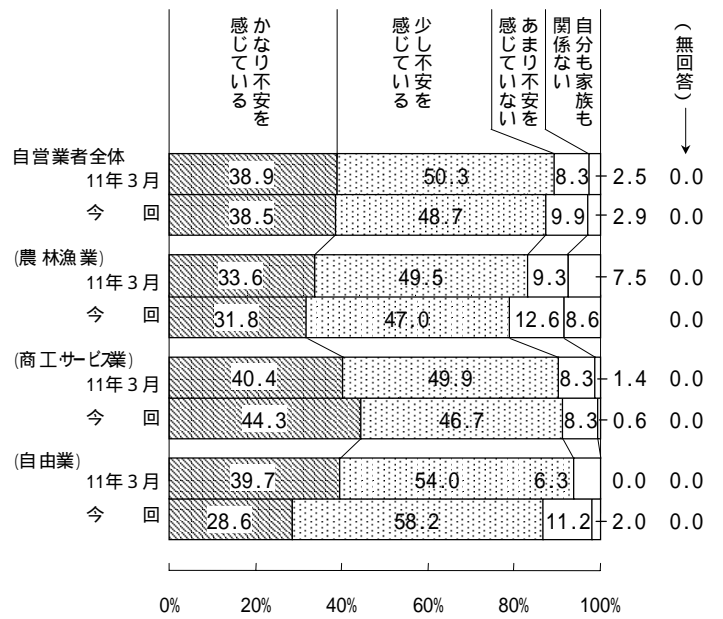
(図表8) 収入(%)



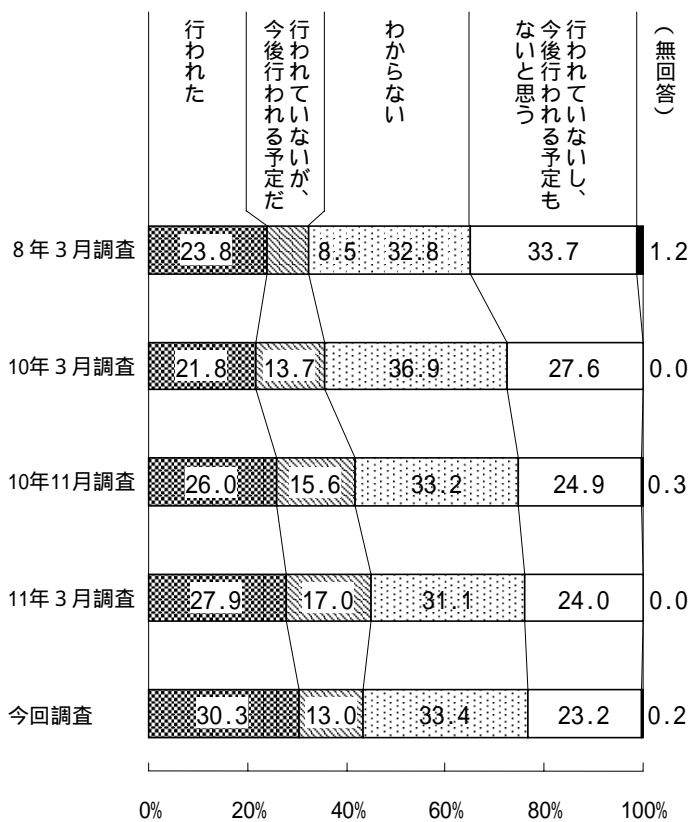
(図表9) 勤め先での雇用・処遇についての不安(%, 勤め人)



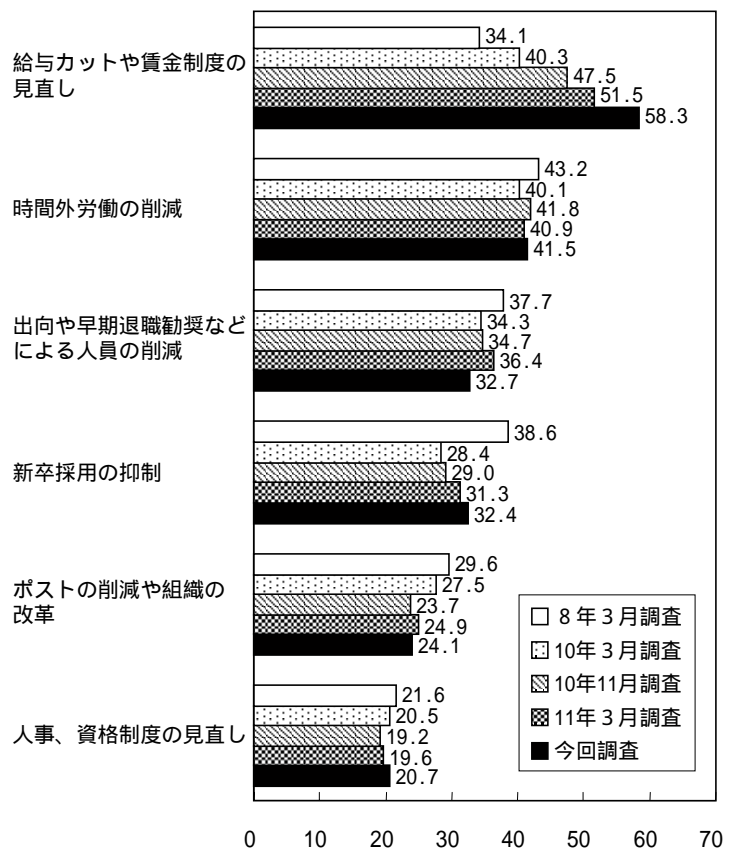
(図表10) 自分の事業についての不安(%, 自営業者)



(図表11) 合理化・リストラの実施状況(%)

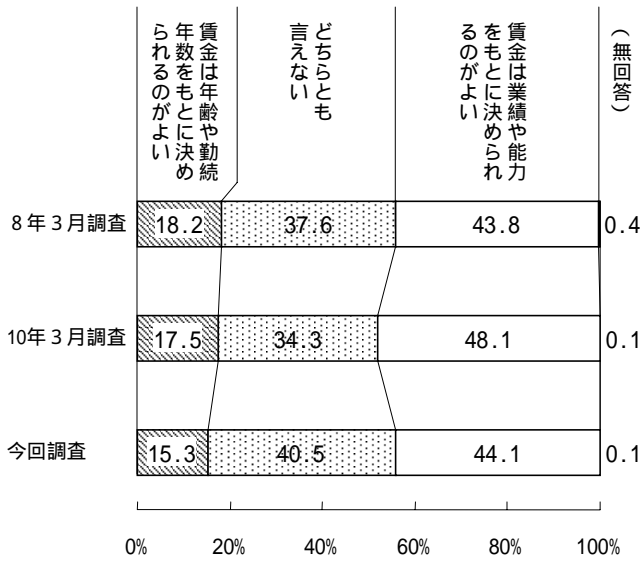


(図表12) 合理化・リストラの具体的な内容(%, 複数回答)

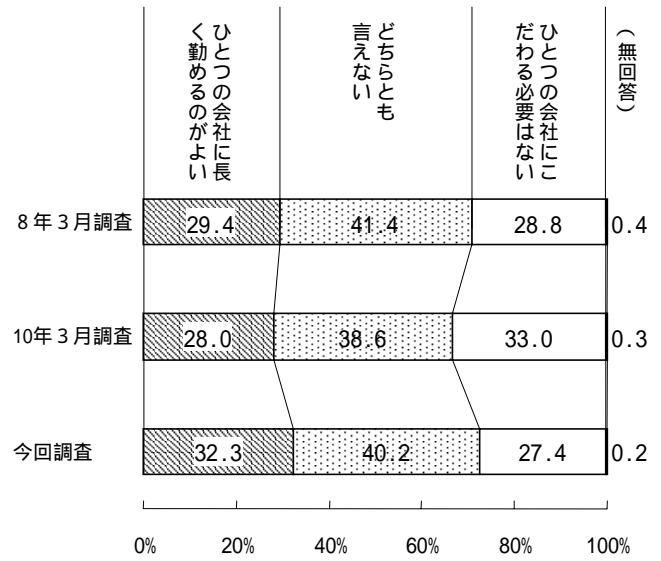




(図表13) 年功制に関する評価 (%)



(図表14) 終身雇用に関する評価 (%)



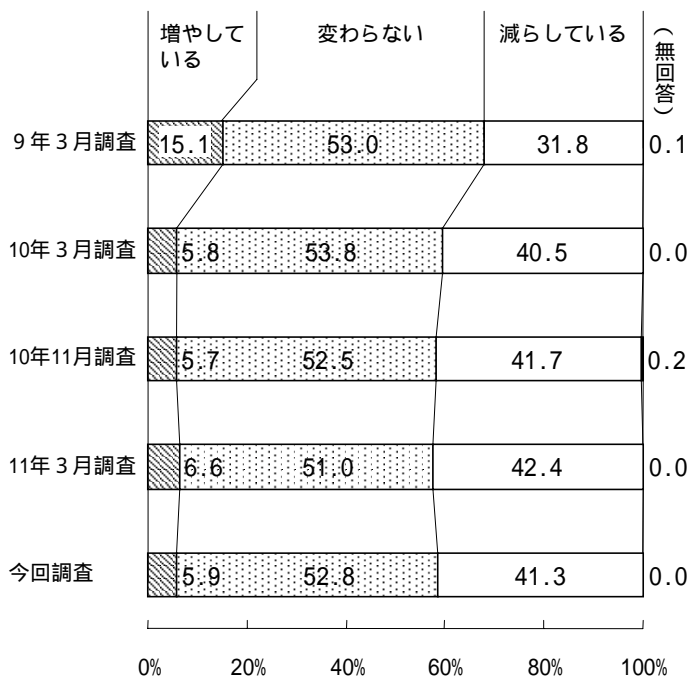
(3) 支出

1年前と比べて支出を「減らしている」人はなお4割強存在。支出に関するD.I.（「増やしている」-「減らしている」）は下げ止まったが、未だ景況感D.I.のような改善をみるには至っていない。支出を減らしている理由としては、「将来の仕事や収入に不安があるから」および「年金や社会保険の給付が少なくなるとの不安から」が引き続き多いほか、「不景気やリストラ等による収入の頭打ちや減少から」の増加が目立っており、収入・雇用環境の厳しさが、生活者の支出抑制スタンスに影響していることが窺われる。

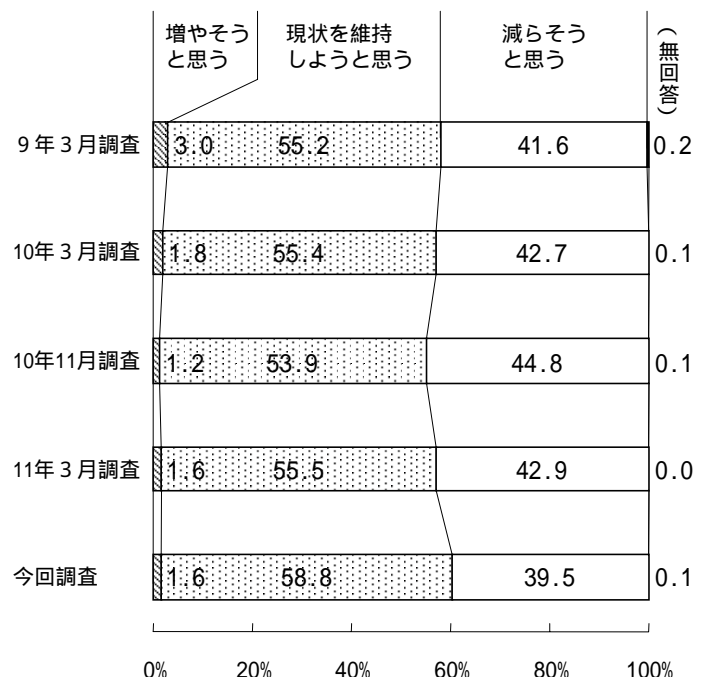
また、先行きさらに支出を切り込もうといったムードは後退しつつあるが、「増やそうと思う」人は依然ごく少数にとどまっている。

(図表15) 支出 (%)

< 現在と1年前を比べて >



< 1年後と現在を比べて >

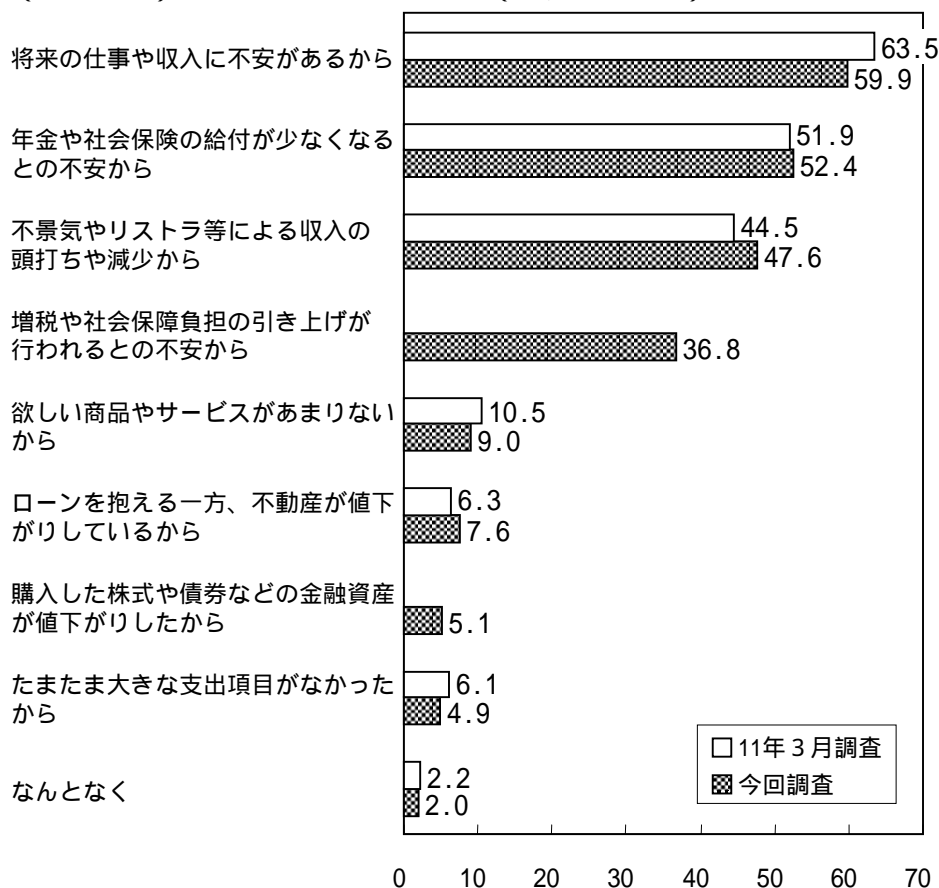


( 図表 1 5 続き )

< D . I . の推移 >

	8年3月 調査	9年3月 調査	10年3月 調査	10年11月 調査	11年3月 調査	今回調査
現 在 ( 前回比 )	-38.4	-16.7 (+21.7)	-34.7 (-18.0)	-36.0 ( -1.3)	-35.8 ( +0.2)	-35.4 ( +0.4)
1年後の予想 ( 前回比 )	-49.7	-38.6 (+11.1)	-40.9 ( -2.3)	-43.6 ( -2.7)	-41.3 ( +2.3)	-37.8 ( +3.5)

( 図表 1 6 ) 支出を減らしている理由 ( %、複数回答 )



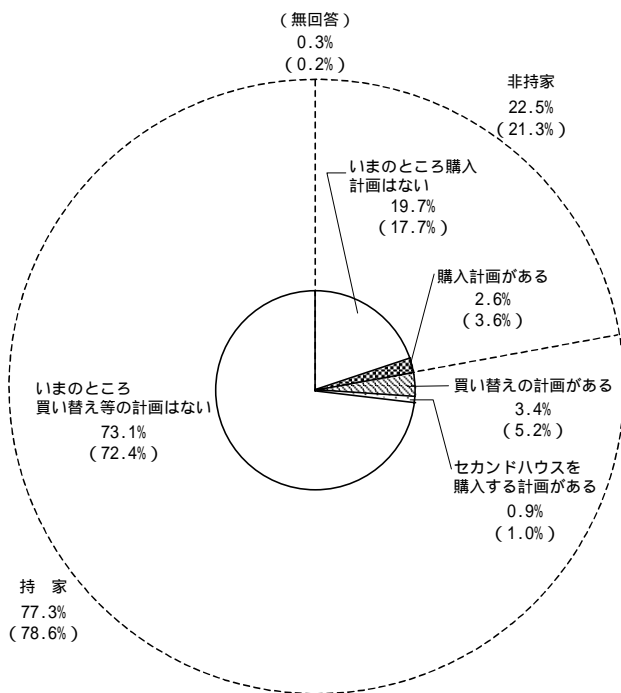
今回新設の選択肢。

## 6. 住宅購入

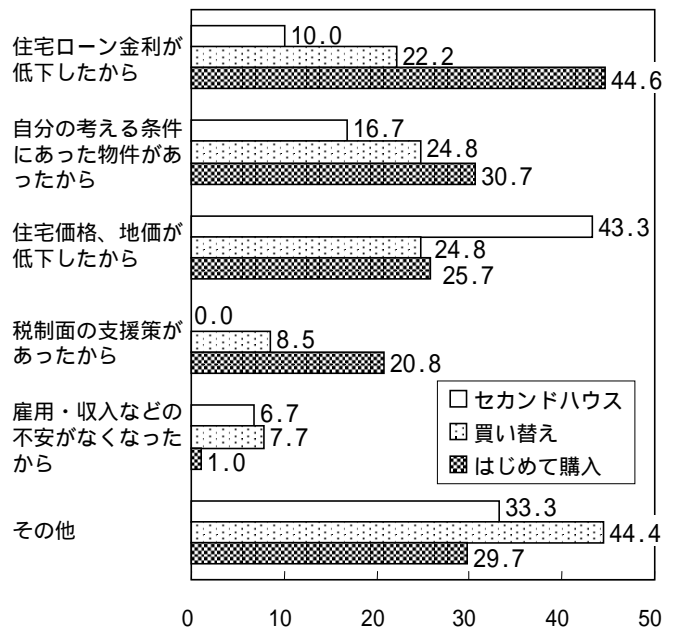
マイホームを購入ないし買い替える計画があるとの回答は、全体の6.9%と前回調査(9.8%)を下回った。

購入・買い替えの計画がある人にその理由を尋ねると、外部条件としては、住宅ローン金利の低下、住宅価格・地価の低下を挙げる人が多く、次いで税制面での支援策が続いている。前回調査から今回調査にかけてこうした外部条件にさほど変化がない中、購入・買い替えを計画した人は実際に購入・買い替えを進める一方、購入・買い替えの計画がない人では「どうしても購入・買い替えは考えられない」とする人が増加している様子が窺われる。

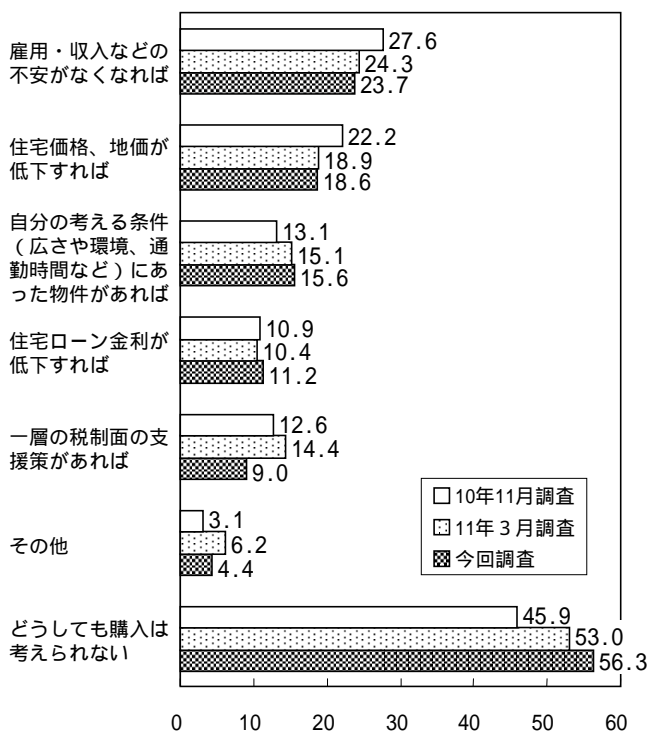
(図表17) マイホーム購入・買い替えの計画(%)  
 かつこ内は、11年3月調査。



(図表18) 購入・買い替えの計画がある人が、購入・買い替えに踏み切った理由(%, 複数回答)



(図表19) 購入・買い替えの計画がない人が、購入・買い替えに踏み切るための条件(%, 複数回答)

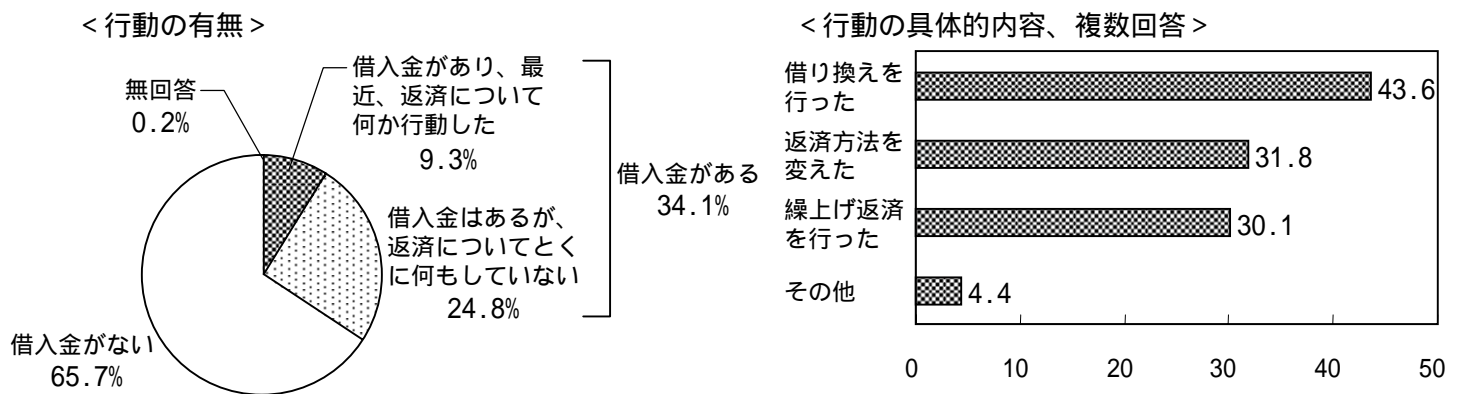


## 7. 家計のバランスシート調整

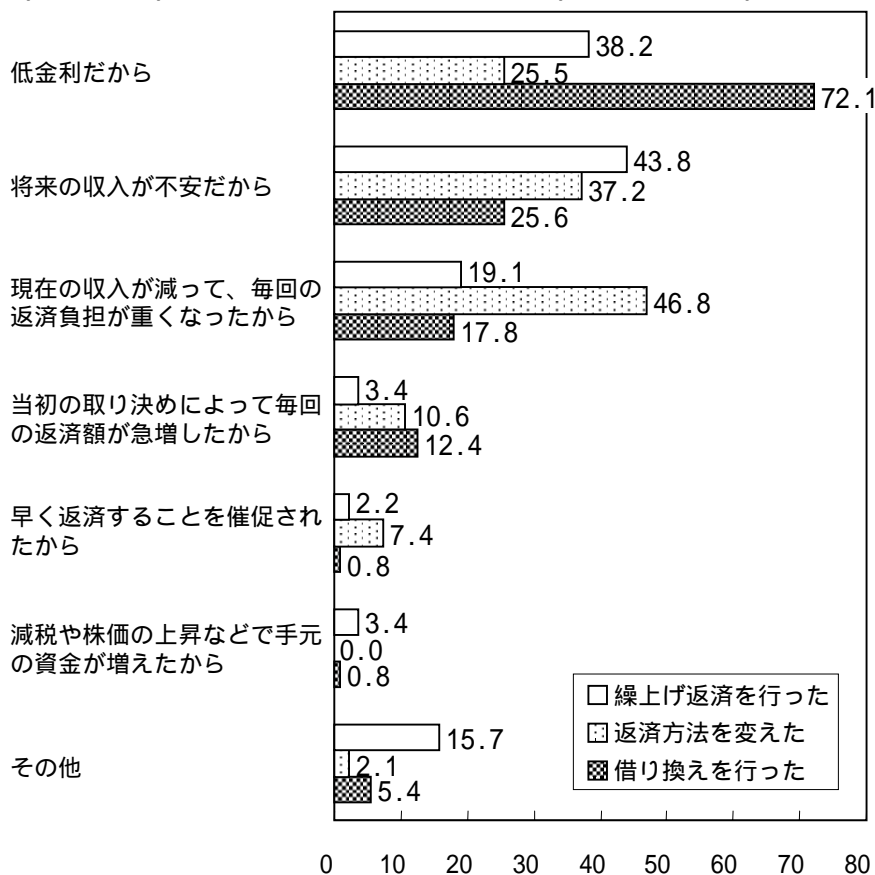
### (1) 借入金返済に係る行動

借入金を保有し、最近、その返済について何らかの行動をした人は全体の約1割。具体的な行動の内容としては、借り換えが4割強と最も多い。これらの人々に行動の理由を尋ねると、借り換えを行った人では「低金利だから」が、返済方法を変えた（返済期間の変更等を行った）人では「現在の収入が減って、毎回の返済負担が重くなったから」が、繰上げ返済を行った人では「将来の収入が不安だから」が、それぞれ最も多くなっている。

(図表20) 借入金返済に係る行動(%)



(図表21) 借入金返済に係る行動の理由(%, 複数回答)

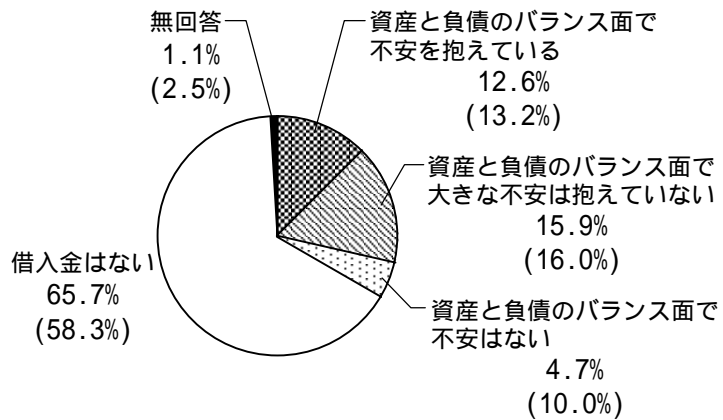


## (2) 資産・負債バランスについての不安

住宅ローン等の借入金がある人のうち、「資産の値下がりが激しく、バランスが崩れて不安を抱えている」との回答は、4割弱(全体では12.6%)となっている。

(図表22) 家計の資産・負債バランスについての不安

かっこ内は11年3月調査。



## 8. 金融システム問題

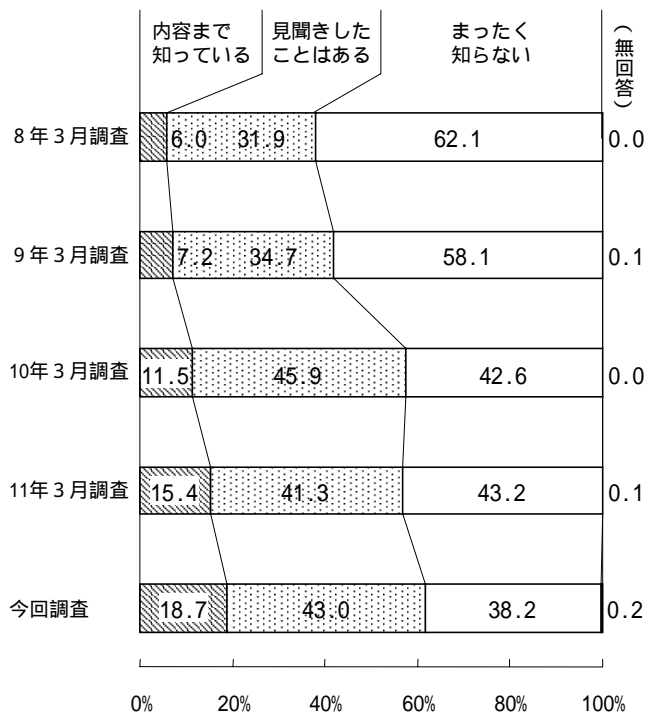
### (1) 預金保険制度の認知度

預金保険制度の認知度は前回調査比上昇し、預金保険制度を知っている人は全体の6割を超えた。また、預金保険制度の特例措置について知っている人、特例措置の期限（平成13年3月末）まで知っている人とも前回調査比それぞれ増加している（各55.2%、27.5%）。

貯蓄残高1,000万円以上の世帯では、8割以上が預金保険制度を知っており、約半分が特例措置の期限まで認知。

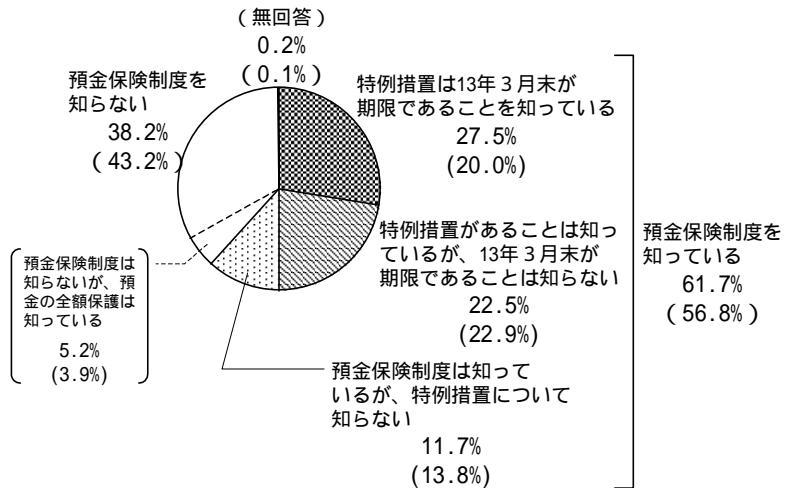
(図表2-3) 預金保険制度の認知度 (%)

(図表2-4) 特例措置とその期限の認知 (%)



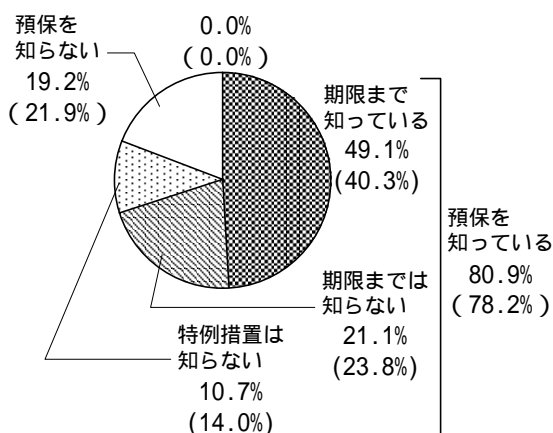
<全体>

かっこ内は、11年3月調査。

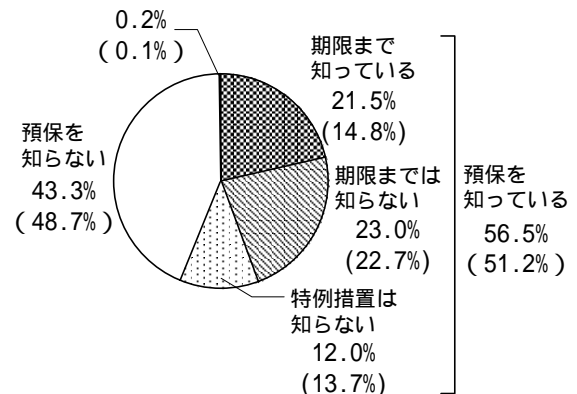


(図表2-4 続き)

<世帯貯蓄残高1,000万円以上>



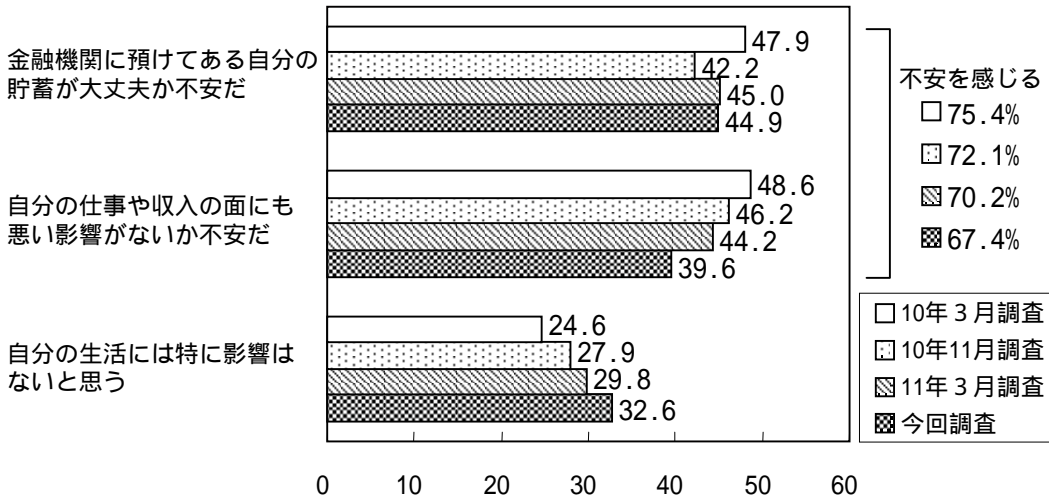
<同1,000万円未満>



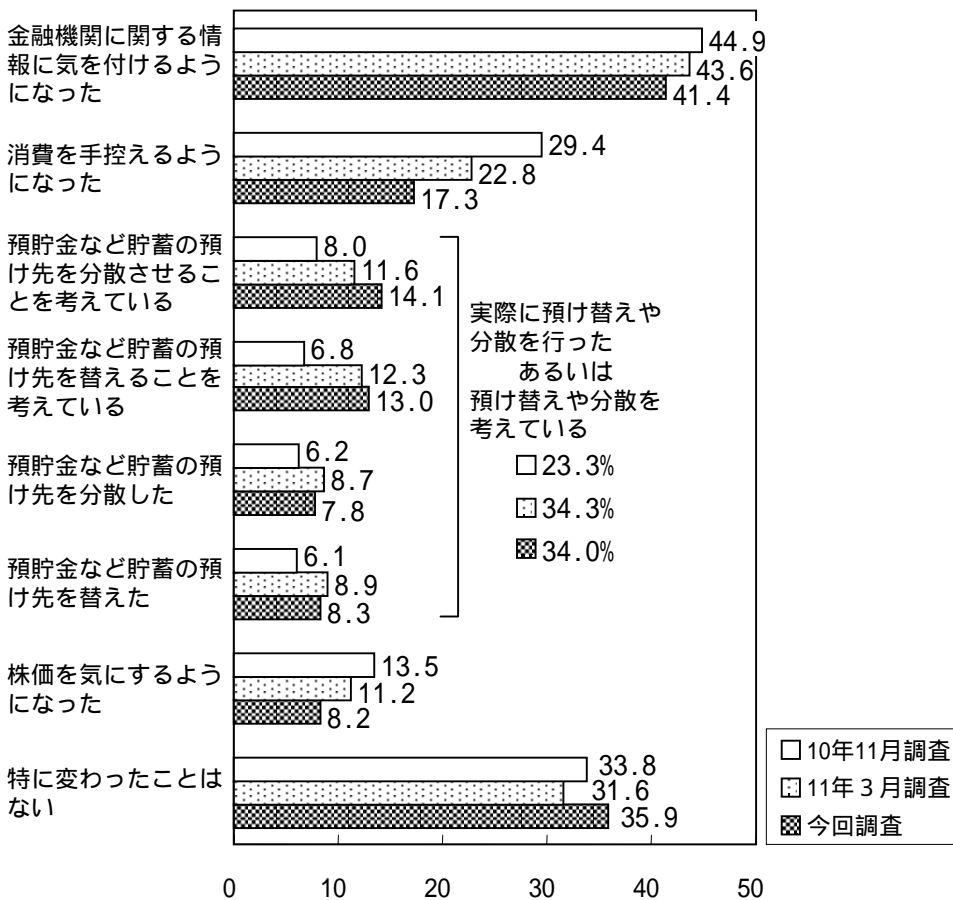
## (2) 金融機関破綻に関する受け止め方

金融機関の破綻に際して「自分の仕事や収入の面にも悪い影響がないか不安だ」との回答は4割弱まで減少し、「自分の生活には特に影響はないと思う」との回答が増加したが、「金融機関に預けてある自分の貯蓄が大丈夫か不安だ」との回答は4割超で推移。これに伴い、金融不安・金融機関破綻のニュースを聞いて、実際に預け替えや分散を行った、あるいは、今後預け替えや分散を考えるとする人は、引き続き3人に1人の割合で存在。

(図表25) 金融機関の経営破綻に関する受け止め方(%, 2つまでの複数回答)



(図表26) 金融不安・金融機関破綻報道による行動や意識の変化(%, 複数回答)

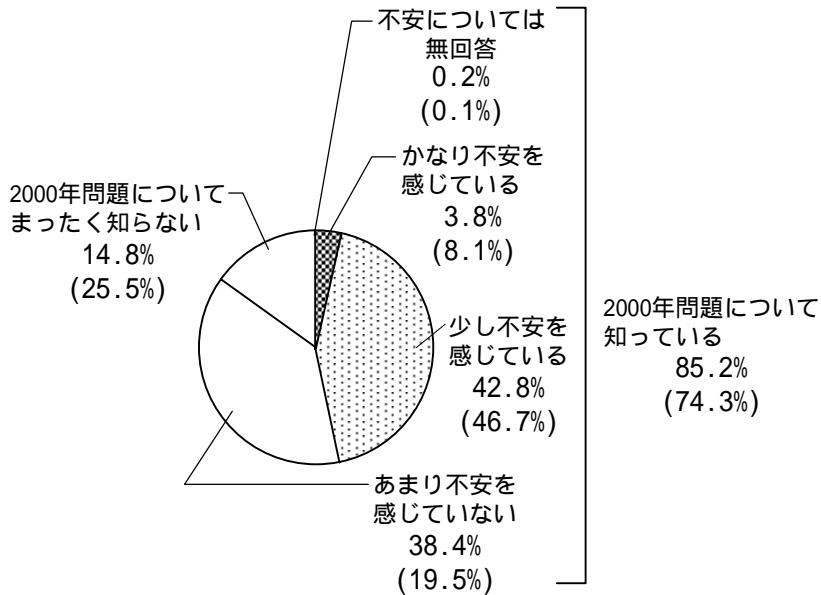


## 9. コンピュータ西暦 2000 年問題

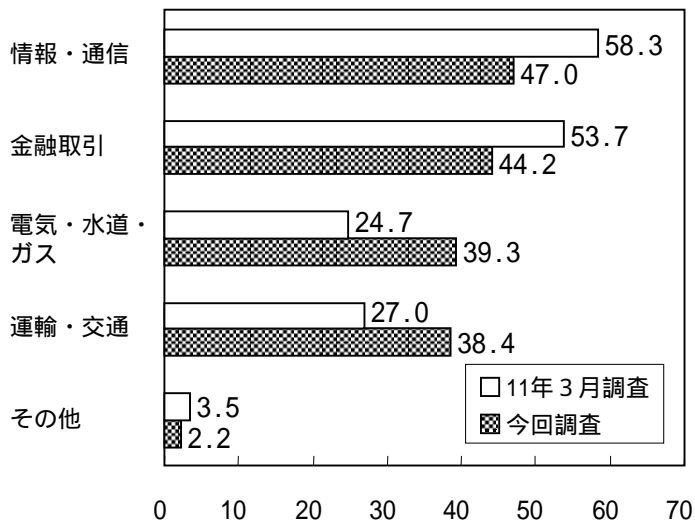
コンピュータ西暦 2000 年問題（以下「2000 年問題」）について知っている人は 9 割弱まで増加する一方で、2000 年問題に関して不安を感じている人は減少。不安を感じる分野としては、前回調査に比べ、「情報・通信」および「金融取引」が減少し、「電力・ガス・水道」および「運輸・交通」が増加している。

（図表 2 7）2000 年問題の認知度と不安（％）

かっこ内は、11 年 3 月調査。



（図表 2 8）2000 年問題の不安を感じる分野（％、2 つまでの複数回答）



以 上



( 調査結果 )

## 生活意識に関するアンケート調査

( 注 ) 太文字の数値は回答比率 % ( 小数第 2 位を四捨五入したことや、無回答者を掲記していないことから、単数回答項目について、その構成比は必ずしも 100 にならない )

問 1 . 現在、関心を持っている経済問題は何ですか。( は 3 つまで )

1 景気	72.3	7 金融システム問題	12.9
2 雇用、収入	43.3	8 財政、税金	28.1
3 物価	26.5	9 高齢化、少子化	43.0
4 地価	4.3	10 規制緩和	4.0
5 株価	4.2	11 産業空洞化、国際競争力	4.3
6 金利	26.3	12 その他 ( 具体的に )	0.9

問 2 . 1 年前と比べて、最近の景気はどう変わったと思いますか。( は 1 つ )

1 良くなっていると思う	2 変わらないと思う	3 悪くなっていると思う
3.9	56.2	39.8

問 3 . そうお考えになるのは、主にどのようなことからですか。( は 2 つまで )

1 マスコミを通じて	32.6	5 商店街、盛り場などの混み具合	27.2
2 景気関連指標、経済統計を見て	12.4	を見て	
3 勤め先や自分の店の経営状況	43.4	6 なんとなく漠然と	13.6
から		7 その他 ( 具体的に )	2.2
4 自分や家族の収入の状況から	37.1		

( 問 2 で 「 3 悪くなっていると思う 」 と答えた方にお聞きします )

問 4 . 景気に関して、次にあげる中であなたの実感に近いのはどれですか。( はいくつでも )

1 企業の努力などにより、景気は時間が経てばいずれ良くなると思う	20.4
2 不景気になっても、経済や社会の構造を改革するためならやむをえないと思う	15.7
3 不景気だとは言っても、日本の国は豊かになっており、自分の暮らし向きについて言えば生活に困るといほど深刻ではないと思う	27.8
4 不景気はこれまで経験したことがないくらい深刻であり、企業の自助努力などでは対応に限界があると思う	52.2
5 その他 ( 具体的に )	4.6

( 全員にお聞きします )

問 5 . 1 年後の景気は、現在と比べてどうなると思いますか。( は 1 つ )

1 良くなっていると思う	2 変わらないと思う	3 悪くなっていると思う
11.9	74.8	13.3

問6．以下にあげる4つの事柄(1)～(4)に関して、あなたはA、Bのどちらをより意識しますか。  
( はそれぞれ1つ)

			〔1〕 どちらかと言えば Aに近い	〔2〕 言えない どちらとも	〔3〕 どちらかと言えば Bに近い	
事柄		A				B
(1)	減税	国・地方の税収の減少(財政負担の増加)を招く	22.8	32.5	44.5	家計・企業の税負担を減らす
(2)	公的年金の改革	年金の給付水準が切り下げられる	32.8	27.3	39.8	年金制度を維持させる
(3)	公共投資	財政負担の増加に繋がる	29.3	36.5	34.0	景気を回復させる
(4)	規制緩和	企業間の競争をより激しくさせる	19.6	41.2	39.0	競争を通じ、モノやサービスの価格を低下させる

問7．現在の金利水準に関して、どのようにお考えになりますか。( は2つまで)

- |   |  |      |
|---|--|------|
| 1 | 企業の活動が活発になり、景気がよくなることを期待している                     | 38.0 |
| 2 | 現在の金利水準でも、景気がよくなることは期待できない                       | 49.8 |
| 3 | 預金などから受け取る利子が少なくなっているのがつらい                       | 52.2 |
| 4 | 受け取る利子は少なくなっている一方で、物価が安定しており、元本が目減りしないので大きな不満はない | 8.5  |
| 5 | 住宅ローンなどの借入れをしようと考えている(あるいは、既にしている)ので金利負担が少なく、助かる | 11.7 |
| 6 | その他(具体的に )                                       | 1.3  |

問8．1年前と比べて、あなた(またはご家族)の収入はどうなりましたか。( は1つ)

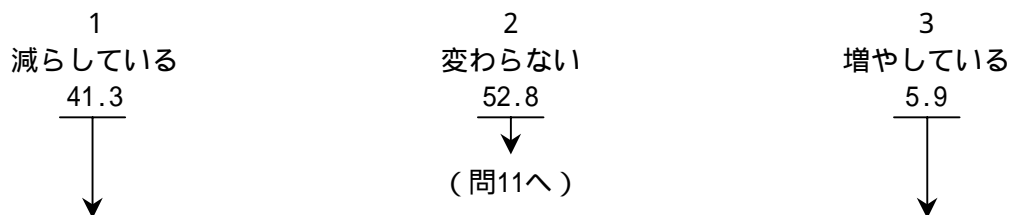
1	2	3
増えた	変わらない	減った
6.2	48.2	45.5

問9．1年後のあなた(またはご家族)の収入は、現在と比べてどうなると思いますか。

( は1つ)

1	2	3
増えると思う	変わらないと思う	減ると思う
6.5	59.8	33.6

問10．1年前と比べて、あなた（またはご家族）の支出をどのようにしていますか。（ は1つ）



(問10で 1 と答えた方にお聞きします)

問10-1a．支出を減らしているのはなぜですか。

( はいくつでも)

- |                                       |      |
|---------------------------------------|------|
| 1 不景気やリストラなどのために収入が頭打ちになったり減ったりしているから | 47.6 |
| 2 将来の仕事や収入に不安があるから                    | 59.9 |
| 3 今後は年金や社会保険の給付が少なくなるのではないかと不安から      | 52.4 |
| 4 将来、増税や社会保障負担の引き上げが行われるのではないかと不安から   | 36.8 |
| 5 住宅ローンを抱える一方で、購入した家などの不動産が値下がりしたから   | 7.6  |
| 6 購入した株式や債券などの金融資産が値下がりしたから           | 5.1  |
| 7 欲しい商品やサービスがあまりないから                  | 9.0  |
| 8 たまたま大きな支出項目がなかったから                  | 4.9  |
| 9 なんとなく                               | 2.0  |

(問10で 3 と答えた方にお聞きします)

問10-1b．支出を増やしているのはなぜですか。

( はいくつでも)

- |                             |      |
|-----------------------------|------|
| 1 収入が増えているから                | 10.6 |
| 2 将来、収入が増えると見込まれるから         | 6.4  |
| 3 減税等に伴い、家計の負担が減少したから       | 2.7  |
| 4 今後、年金や社会保険の改善・充実等が見込まれるから | 3.2  |
| 5 購入した家などの不動産が値上がりしたから      | 1.6  |
| 6 購入した株式や債券などの金融資産が値上がりしたから | 1.1  |
| 7 欲しい商品やサービスがあるから           | 27.7 |
| 8 たまたま大きな支出項目があったから         | 64.9 |
| 9 なんとなく                     | 6.4  |

(全員にお聞きします)

問11．問10の支出を、(1)生活費や教育費など日常的な支出(生活していくためのお金)と、(2)趣味やレジャーなど選択的な支出(1)以外のお金)の2つに分けてみると、どうですか。(1)と(2)それぞれについてお答えください。(それぞれ は1つ)

		[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
		切り詰めている	なんとなく減らしている	変えていない	いやむなく増えている	増やしている
(1)	生活費や教育費など日常的な支出 (生活していくためのお金)	22.6	27.9	36.0	12.8	0.5
(2)	趣味やレジャーなど選択的な支出 (1)以外のお金)	31.0	35.5	27.6	4.1	1.7

問12. 今後1年間の支出をどのようにしようと考えていますか。( は1つ)

1	2	3
減らそうと思う	現状を維持しようと思う	増やそうと思う
39.5	58.8	1.6

問13. 今年から恒久的な減税(最高税率の引き下げ、定率減税)が実施されていますが、あなたはご存知でしたか。( は1つ)

1	2	3
内容まで知っている	聞いたことはある	知らない
11.0	53.4	35.6
↓		↓
		(問14へ)

(問13で1または2と答えた方にお聞きします)

問13-1. その減税分はどのように使いますか。( はいいくつでも)

1	生活費	45.0
2	耐久消費財(乗用車や家電製品など長持ちする商品)の購入	6.7
3	趣味、レジャー	12.0
4	貯蓄、借金返済	25.4
5	その他(具体的に )	1.3
6	使いみちは特に意識していない	26.6
7	自分にはまったく関係ない	11.0

(全員にお聞きします)

問14. あなたは、以下のどの項目が実現すれば支出を増やすと思いますか。( はいいくつでも)

1	一層の所得税減税	31.8
2	消費税率の引下げ	49.5
3	住宅ローン、教育ローンなどがある人を対象とした政策減税	14.8
4	雇用や収入の不安の解消	45.2
5	金融システム不安の解消	20.7
6	年金改革や財政赤字などに対する指針を示し、国民負担の将来像を明確化する	33.6
7	その他(具体的に )	1.6
8	支出を増やすつもりはない	12.4

問15. 支出について今のあなたの考え方に特にあてはまるものはどれですか。( は2つまで)

1	基本的には、収入が増えれば支出も増えると思う	63.6
2	現在の収入よりも将来の不安があるかないかによって、支出は変わると思う	51.0
3	住宅などの不動産を持っているので、こうした資産の値上がりや値下がりによって、支出は変わると思う	4.7
4	税金や社会保険料によっても手取り収入は変わるので、支出はこれらの影響も受けると思う	34.6
5	買いたいと思わせるような魅力的な商品やサービスがあるかどうかで支出は変わると思う	13.1
6	似たような新商品が次々に登場したり、短期間で価格が大きく変わったりすると、買い時の判断が影響を受けるから、支出は変わると思う	4.9

問16．あなたは以下の商品について、近いうちに購入したいとお考えですか。(それぞれ は1つ)

	〔1〕 近いうちに新規購入ないし買い替えをしたいと思っている	〔2〕 新規購入ないし買い替えをしたいと思っているが、収入面に不安があるので先送りしている	〔3〕 新規購入ないし買い替えの希望はない
(1)自動車	8.1	24.9	66.9
(2)テレビ、パソコン等の家電製品	13.1	27.5	59.3
(3)家具等の住宅関連商品	6.0	19.1	74.8

問17．物価についてお聞きします。

1年前と比べて、現在の物価をどのように感じていますか。( は1つ)

1	2	3	4	5
かなり下がっている	少し下がっている	ほとんど前年と変わっていない	少し上がっている	かなり上がっている
0.8	14.0	61.1	21.1	2.9

問18．あなたは、問17で物価を考えた際に、主にどのようなものの値段をイメージしましたか。

( は3つまで)

1 食料品の値段	75.7	6 住宅の建設・修繕費や家賃	12.3
2 日用品の値段	53.4	7 旅行やレジャーの値段	11.1
3 電気製品、自動車などの耐久消費財の値段	20.3	8 病院の診察費や薬の値段	21.0
4 交通機関の運賃	15.7	9 学校や教育サービスの値段	5.6
5 電気、ガス、水道料金等の公共料金	28.9	10 その他(具体的に )	0.9

問19．1年後の物価は、現在と比べるとどうなると思いますか。( は1つ)

1	2	3	4	5
かなり下がる	少し下がる	ほとんど今年と変わらない	少し上がる	かなり上がる
0.3	5.2	69.3	23.5	1.5

問20．今後の地価について、どのようなイメージを持っていますか。( は1つ)

1 以前と比べて随分下がったので、そろそろ上昇すると思う	8.2
2 現状程度が適切な水準であり、しばらくはこの程度だと思う	38.6
3 下がったと言っても、依然として高いので、まだ下がると思う	24.6
4 わからない	28.6

問21. あなたは、ご自分の暮らし向きについて、1年前と比較してどのようにお感じになっていますか。( は1つ)

1  
どちらかと言えば  
ゆとりが出てきたと思う

5.4

2  
どちらかと言えば  
苦しくなってきたと思う

48.3

3  
どちらとも言えない

46.3

(問22へ)

(問21で 1 と答えた方にお聞きします)

問21-1a. その理由は次のうちのどれですか。

( はいくつでも)

1	給与等の定期的な収入が増えたから	47.4
2	利子等のその他収入が増えたから	6.4
3	土地・住宅等の不動産の売却による収入があったから	2.3
4	物価が下がっている、あるいは、安定しているから	15.6
5	扶養家族が減ったから	31.8
6	その他(具体的に )	15.0

(問21で 2 と答えた方にお聞きします)

問21-1b. その理由は次のうちのどれですか。

( はいくつでも)

1	給与等の定期的な収入が減ったから	67.1
2	利子等のその他収入が減ったから	23.1
3	土地・住宅等の不動産の購入費用がかさんだから	7.2
4	物価が上がっているから	20.5
5	扶養家族が増えたから	10.9
6	その他(具体的に )	14.4

(全員にお聞きします)

問22. 雇用の形態に関して、あなたのお考えはA、Bのどちらに近いですか。( はそれぞれ1つ)

		[1] A に近い	[2] どちら とも言 ない	[3] B に近い		
		A			B	
(1)	勤め人への賃金は年齢や勤続年数をもとに決められるのがよい	15.3	40.5	44.1	勤め人への賃金は業績や能力をもとに決められるのがよい	
(2)	ひとつの会社に長く勤めるのがよい	32.3	40.2	27.4	ひとつの会社にこだわる必要はない	

問23. あなた(またはご家族)の勤め先の経営、あるいは、あなた(またはご家族)が営んでいる事業に不安を感じていますか。( は1つ)

1  
あまり不安を  
感じていない  
17.9

2  
少し不安を  
感じている  
49.1

3  
かなり不安を  
感じている  
25.6

4  
自分も家族も  
関係ない  
7.2

問24. あなた（またはご家族）のところでは、給与や人員の抑制・削減といった合理化、リストラがここ1年くらいの間に行われましたか、あるいは今後予定されていますか。（ は1つ）

1 行われた	2 まだ行われていないが、 今後行われる予定である	3 行われていないし、今後 行われる予定もないと思う	4 わからない
30.3	13.0	23.2	33.4

(問25へ)

(問24で 1 または 2 と答えた方にお聞きします)

問24-1. 具体的には、どのようなことが実施されましたか、あるいは予定されていますか。（ はいくつでも）

1 時間外労働の削減	41.5
2 給与カットや賃金制度の見直し	58.3
3 新卒採用の抑制	32.4
4 出向や早期退職勧奨などによる人員の削減	32.7
5 ポストの削減や組織の改革	24.1
6 人事、資格制度の見直し	20.7
7 その他（具体的に ）	2.4
8 予定されているが、具体的にはわからない	3.6

(全員にお聞きします)

問25. あなた（またはご家族）の勤め先での雇用・処遇（給与、昇格、福利厚生など）に不安を感じていますか。（ は1つ）

1 あまり不安を 感じていない	2 少し不安を 感じている	3 かなり不安を 感じている	4 自分も家族も 関係ない
18.2	46.7	22.8	12.2

問26. あなたのご家族のなかで、就職・再就職を考えている方は（あなた自身を含めて）いらっしゃいますか。（ は1つ）

1  
いる  
32.8

2  
いない  
66.9  
↓  
(問27へ)

(問26で 1 と答えた方にお聞きします)

問26-1. あなた（またはその方）の就職・再就職に不安を感じていますか。（ は1つ）

1 あまり不安を感じていない	6.0
2 少し不安を感じている	34.8
3 かなり不安を感じている	59.2

(全員にお聞きします)

問27. 住宅(マイホーム)に関して、あなたはどのようにお考えですか。すでにマイホームをお持ちの方も、ご自身の考え方をお答え下さい。( は1つ)

- |   |   |      |
|---|---|------|
| 1 | やはり自分の家、土地を持ちたいと思う                        | 64.1 |
| 2 | 持ち家にこだわらないので、賃貸住宅に住み続けてよいと思う              | 7.4  |
| 3 | 親と同居している(今後する予定である)ので、自分で家を持つことを特に意識していない | 12.4 |
| 4 | いずれとも言えない                                 | 16.0 |

問28. 景気対策の一環として、今年と来年に新しいマイホームに住み始める方に限り、これまでよりも住宅ローン減税全般が拡充されていることを、あなたをご存知ですか。( は1つ)

- |           |            |          |
|-----------|------------|----------|
| 1         | 2          | 3        |
| 内容まで知っている | 見聞きしたことはある | まったく知らない |
| 12.4      | 49.7       | 37.4     |

問29. マイホームなどの購入・買い替えを具体的に計画していますか。( は1つ)

- |                     |                     |            |                   |
|---------------------|---------------------|------------|-------------------|
| 1                   | 2                   | 3          | 4                 |
| いまのところ購入・買い替えの計画はない | はじめてマイホームを購入する計画がある | 買い替えの計画がある | セカンドハウスを購入する計画がある |
| 91.9                | 3.2                 | 3.7        | 0.9               |

(問29で 1 と答えた方にお聞きします)

(問29で 2 ~ 4 のいずれかを答えた方にお聞きします)

問29-1a. どのような条件が満たされれば購入・買い替えをしてもよいと思いますか。( はいくつでも)

- |   |                                  |      |
|---|----------------------------------|------|
| 1 | 住宅価格、地価が低下すれば                    | 18.6 |
| 2 | 住宅ローン金利が低下すれば                    | 11.2 |
| 3 | 雇用・収入などの不安がなくなれば                 | 23.7 |
| 4 | 一層の税制面の支援策があれば                   | 9.0  |
| 5 | 自分の考える条件(広さや環境、通勤時間など)にあった物件があれば | 15.6 |
| 6 | その他(具体的に )                       | 4.4  |
| 7 | どうしても購入や買い替えは考えられない              | 56.3 |

問29-1b. いつごろ購入・買い替えをしようと計画していますか。( は1つ)

- |   |                 |      |
|---|-----------------|------|
| 1 | 今年中             | 13.7 |
| 2 | 来年中             | 22.6 |
| 3 | 再来年以降           | 11.3 |
| 4 | 時期についてはまだ考えていない | 52.4 |

問29-2b. どのような理由から、購入・買い替えの計画を立てましたか。( はいくつでも)

- |   |                                    |      |
|---|------------------------------------|------|
| 1 | 住宅価格、地価が低下したから                     | 26.2 |
| 2 | 住宅ローン金利が低下したから                     | 29.8 |
| 3 | 雇用・収入などの不安がなくなつたから                 | 4.8  |
| 4 | 税制面の支援策があったから                      | 12.5 |
| 5 | 自分の考える条件(広さや環境、通勤時間など)にあった物件があったから | 27.4 |
| 6 | その他(具体的に )                         | 37.1 |



(全員にお聞きします)

問30. あなたには、住宅ローンや消費者ローンなどの借入金がありますか。( は1つ)

1  
あ る  
34.1

2  
な い  
65.7  
↓  
(問31へ)

(問30で 1 と答えた方にお聞きします。)

問30-1. あなたは、最近、借入れの返済について何かしましたか。

( は1つ)

- |   |                      |      |
|---|----------------------|------|
| 1 | 今後1回当たりの返済額が減るようにした  | 10.7 |
| 2 | 今後1回当たりの返済額が増えるようにした | 1.1  |
| 3 | 返済期間を短縮するようにした       | 11.8 |
| 4 | 返済期間を延長するようにした       | 3.7  |
| 5 | とくに何もしていない           | 72.7 |

(問31へ)

(問30-1で 1 ~ 4 のいずれかを答えた方にお聞きします。)

問30-2. 具体的にはどうしましたか。( はいくつでも)

- |   |            |      |
|---|------------|------|
| 1 | 借り換えを行った   | 43.6 |
| 2 | 繰上げ返済を行った  | 30.1 |
| 3 | 返済方法を変えた   | 31.8 |
| 4 | その他(具体的に ) | 4.4  |

問30-3. また、そのようにしたのは、なぜですか。

( はいくつでも)

- |   |                                   |      |
|---|-----------------------------------|------|
| 1 | 減税や株価の上昇などで手元の資金が増えたから            | 1.0  |
| 2 | 将来の収入が不安だから                       | 33.8 |
| 3 | 現在の収入が減って、毎回の返済負担が重くなったから         | 27.0 |
| 4 | 低金利だから                            | 46.3 |
| 5 | 当初の返済方法の取り決めにしたがって、毎回の返済額が急に増えたから | 8.4  |
| 6 | 早く返済することを催促されたから                  | 3.7  |
| 7 | その他(具体的に )                        | 7.4  |

(全員にお聞きします)

問31. あなたの家計全体のバランスについて、以下の中から最も近い感じのものをお選び下さい。

( は1つ)

- |   |   |      |
|---|---|------|
| 1 | 住宅ローン等の借入はほとんどなく、一方で資産(持家もしくは金融資産等)はそこそこあるので、資産と負債のバランスに関する不安はない          | 58.6 |
| 2 | 住宅ローン等の借入があるものの、資産(持家もしくは金融資産等)の値下がりはそれほど大きくないため、資産と負債のバランス面で大きな不安は抱えていない | 20.6 |
| 3 | 住宅ローン等の借入がある一方、資産(持家もしくは金融資産等)の値下がり激しく、資産と負債のバランスが崩れて不安を抱えている             | 16.2 |

問32. あなたは金融機関経営や金融システム問題にどの程度関心がありますか。( は1つ)

1	2	3
非常に関心がある	それなりに関心がある	あまり関心がない
11.5	51.3	37.1

問33. 最近における金融機関の経営破綻から、あなたは何をお感じになりますか。( は2つまで)

1	金融機関に預けてある自分の貯蓄が大丈夫かどうか不安だ	44.9
2	自分の仕事や収入の面にも悪い影響が出るのではないかと不安だ	39.6
3	自分の生活には特に影響はないと思う	32.6

問34. 最近の金融不安・金融機関破綻のニュースを聞いてあなたの行動はどう変わりましたか。

( はいくつでも)

1	預貯金など貯蓄の預け先を替えた	8.3
2	預貯金など貯蓄の預け先を替えることを考えている	13.0
3	預貯金など貯蓄の預け先を分散した	7.8
4	預貯金など貯蓄の預け先を分散させることを考えている	14.1
5	金融機関に関する情報に気をつけるようになった	41.4
6	消費を手控えるようになった	17.3
7	株価を気にするようになった	8.2
8	特に変わったことはない	35.9

問35. 預金には預金者保護のために、原則として1金融機関につき、預金者一人当たり元本1,000万円まで保険がかけられていることをご存じですか。( は1つ)

1	2	3
内容まで知っている	見聞きしたことはある	まったく知らない
18.7	43.0	38.2

問36. 預金者保護のための特例として、現在、1,000万円を上回る元本部分や金利分を含めて預金の全額が保護されることをご存知ですか。( は1つ)

1	2	3
内容まで知っている	見聞きしたことはある	まったく知らない
12.9	42.3	44.7
↓		↓
		(問37へ)

(問36で1または2と答えた方にお聞きします)

問36-1. この預金者保護のための特例が、2001年3月末までを期限としていることをご存知ですか。( は1つ)

1	知っている	52.6
2	知らない	47.4

(全員にお聞きします)

問37. あなたは、「西暦2000年問題」を知っていますか。( は1つ)

1	2	3
内容まで知っている	見聞きしたことはある	まったく知らない
29.7	55.5	14.8

↓  
( F 1 へ )

(問37で 1 または 2 と答えた方にお聞きします)

問37-1. あなたは、「西暦2000年問題」を踏まえて、今年末から来年初にかけてどのように過ごすつもりですか。

( は1つ)

1	何らかの対策を講じるつもり	11.5
2	とくに何かするつもりはない	48.9
3	その時にならないとわからない	39.6

問37-2. あなたは、「西暦2000年問題」について不安を感じていますか。( は1つ)

1	かなり不安を感じている	4.5
2	少し不安を感じている	50.3
3	あまり不安を感じていない	45.1

( F 1 へ )

→(問37-2で 1 または 2 と答えた方にお聞きします)

問37-3. どんな分野について、不安を感じていますか。

( は2つまで)

1	電気・水道・ガス関連	39.3
2	運輸・交通関連	38.4
3	情報・通信関連	47.0
4	金融取引関連	44.2
5	その他(具体的に )	2.2

( 全員にお聞きします )

最後に、あなたご自身のことやお宅のことについておうかがいします。  
 [ 立ち入ったことも含まれていますが、調査結果を分析するために使いますので、さしつかえなければお答えください。 ]

F 1 . あなたの性別は。

1	2
男	女
49.1	50.9

F 2 . あなたの年齢は。( 満年齢でお答えください。 )

1	2	3	4	5	6
20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
14.1	17.1	19.7	21.9	17.7	9.5

F 3 . 結婚していらっしゃいますか。

1	2	3
既婚 ( 配偶者あり )	既婚 ( 配偶者と離別・死別 )	未 婚
74.6	9.1	16.3

F 4 . あなたのご職業は。パート勤めの方は勤め人としてお答えください。( 1 は 1 つ )

自 営 業 家 族 従 業 者	1	農林漁業	4.7	勤 め 人	4	管理職	6.2	無 職 者	10	専業主婦	12.9	
	2	商工・サービス業	10.5		5	専門技術職・教員	9.1		11	学生	1.5	
	3	自由業	3.1		6	事務職	9.6		12	年金・恩給生活者	12.1	
18.4				7	労務職	9.1				13	その他無職	3.7
				8	販売・サービス職	7.9				30.2		
				9	パート勤め	9.4						

( F 4 で 1 ～ 1 0 と答えた方にお聞きします )

F 4-1 . あなたのお仕事あるいは勤め先の業種は何ですか。パート勤めの方は、お宅の中で主として生計を支えていらっしゃる方の業種について、専業主婦の方は、ご主人の勤め先の業種についてお答えください。

1 農林漁業	8.3	6 金融・保険業	3.5
2 製造業	20.1	7 電気・ガス・水道業	2.5
3 卸・小売業、飲食店	15.1	8 サービス業	21.6
4 運輸・通信業	7.1	9 公務員	8.4
5 建設・不動産業	11.1	10 その他 ( 具体的に )	1.7

(全員にお聞きします)

F 5 . 主としてお宅の生計を支えていらっしゃるのはあなたですか。  
(夫婦で同じ程度という場合などは、「1 はい」に をつけてください。)

1	2
はい	いいえ
54.2	45.7

F 6 . あなた(および配偶者)の昨年1年間の収入(税込み)は、次のどの区分に入りますか。  
(ただし、退職金や土地の売却代金など一時的な収入は除いてください。)( は1つ)

1 収入はない	4.5	4 1,000万円~1,500万円未満	5.0
2 500万円未満	53.8	5 1,500万円以上	1.9
3 500万円~1,000万円未満	32.6		

F 7 . あなた(および配偶者)は収入(生活費)をどのようなかたちで得ていますか。  
以下から、あてはまるものをお選びください。( はいいくつでも)

1 給料(賃金)	71.5	6 株式などの配当や運用益	1.5
2 事業からの収益	12.6	7 預金など貯蓄の取り崩し	6.1
3 アパートなどの不動産からの賃貸料	4.1	8 家族や国などからの援助	3.1
4 年金	23.1	9 その他(具体的に )	0.7
5 利子収入	1.5	10 収入はない	1.5

( F 8 へ進む )

( F 7 で 1 ~ 9 のいずれかを答えた方にお聞きします )

F 7-1 . 前問で、あなたが おつけになったものの中で、最も金額の多いものを1つを選んでください。  
( は1つ)

1 給料(賃金)	68.3	6 株式などの配当や運用益	0.0
2 事業からの収益	9.9	7 預金など貯蓄の取り崩し	1.0
3 アパートなどの不動産からの賃貸料	1.4	8 家族や国などからの援助	1.4
4 年金	17.5	9 その他(具体的に )	0.3
5 利子収入	0.1		

(全員にお聞きします)

F 8 . あなた(および配偶者)の貯蓄残高は、次のどの区分に入りますか。事業目的のものを除いた預貯金、信託、保険、株式、債券、投信などの合計額でお答えください。なお、生命保険、損害保険、共済については掛け捨て型のものを除いてお答えください。( は1つ)

1 貯蓄はない	17.0	4 1,000万円~2,000万円未満	10.8
2 500万円未満	42.1	5 2,000万円以上	9.1
3 500万円~1,000万円未満	17.1		

F 9 . あなた(および配偶者)の借入残高は、次のどの区分に入りますか。( は1つ)  
(注)クレジットカードを利用しての買い物や事業目的の借入れは除きます。

1 借入金はない	60.6	4 1,000万円~2,000万円未満	6.6
2 500万円未満	18.4	5 2,000万円~5,000万円未満	5.2
3 500万円~1,000万円未満	6.3	6 5,000万円以上	0.9

F 10 . 現在一緒に住んでいるご家族の構成は。( は1つ)

1	1人住まい世帯	5.7	4	親と子と孫の3世代世帯	18.7
2	夫婦だけ世帯	22.9	5	その他(具体的に )	1.5
3	親と子の2世代世帯	51.0			

( F 10 で 3 または 4 と答えた方にお聞きします )

F 10-1 . 世帯の中であなたが位置する世代は。( は1つ)

1	2	3
親世代	子世代	孫世代
56.8	39.6	3.3

( 全員にお聞きします )

F 11 . あなた(またはご家族)のお住まいは次のどれにあたりますか。複数ある場合は、あなた自身が生活の拠点としているお住まいについてお答えください。( は1つ)

1	土地付き持ち家	68.0	4	借家	6.0
2	持ち家のマンション	5.2	5	賃貸マンション・アパート	13.7
3	借地持ち家	4.1	6	社宅、官舎、寮	2.8

F 12 . あなたは、マスコミの金融、株式に関する報道を熱心に見るほうですか。( は1つ)

1	2	3
熱心に見る	あまり見ない	まったく見ない
22.4	61.6	15.8